

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	コラーレ富山	事業所番号	1610101550
住所	富山市新庄本町三丁目1-13	管理者名	木村 貴之
電話番号	076-452-3899	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>再生アート展覧会：NOMAMAtoGAMAMA</p> <p>場所 氷見市芸術文化館</p> <p>日時 令和5年9月3日～24日</p> <p>施設外就労先の株式会社エイキ（解体リサイクル業）に集まる廃棄物を「スクラップアート」として表現・再利用。SDGs活動の一つとして、未来の豊かな地球環境を守るために廃棄物でできることを考え、環境問題への広報活動を行う。</p> <p>実施の概要</p> <p>利用者数 1名（ブログや動画、作品作成の広報担当）</p>	<p><活動の様子></p> <p>7月29日 荷物搬入（ばーと◎とやま）</p> <p>9月3日 展示開始</p> <p>9月16日 ワークショップ 「虫を作ってみよう」 「箱アートを作ってみよう」</p> <p>9月25日 荷物搬出（ばーと◎とやま）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>活動の様子の写真、成果物の写真、活動内容のコメント等は、当事業所のホームページやSNS・Instagramに掲載しております。</p> </div> 
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>「春納豆」というアーティストとして作品作りに取り組むも、心身の状況からこれまで一度も展示会やワークショップへ参加することが出来ていない。ワークショップの準備などを通し少しずつ参加を促し、お客さんの生の反応をみることで刺激をもらい今後の活動に生かしたい。</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>自己表現の場を確立し自信をつけていくことや、社会と触れあいながら作品作りの意義をより身近に感じることが出来る。</p>	
<p><実施した結果、得られた成果、課題点></p> <p>・ばーと◎とやまさんのご協力のもと「NOMAMA to GAMAMA」に展示とワークショップをさせていただいた。会場には「ありのまま。あるがまま。そのまま。生(き)のまま」な自分らしさがそのままカタチとなった作品が勢ぞろいした。自分の作品を見た人がどう反応しているか、自分の企画したワークショップは楽しんでもらえたか、興味をもってもらえたかなど、頭の中で考えていた以上の刺激を得ることが出来た。</p>	
<p><課題></p> <p>・大きな会場だったためか、作品のまとまり感のなさを感じた。持参した作品数は多くあったがボリュームを感じられなかった。今後はシリーズ化することで迫力を出していきたい。今後の展示に向けて作品の作成をしていく。</p> <p>・初参戦ということもあり、終了後のやり切った感（疲労感）が大きく心身に影響した。本人のペースに合わせながら場慣れと体力づくりが必要。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>ご縁が続く今年の展示会も一緒に盛り上げてくださりありがとうございます。ワークショップに参加された方々の作品が完成し、笑顔で帰っていかれる姿が印象的でした。今回一番嬉しかったことは春納豆さんにお会いすることができ、春納豆さんの呼び方の発音について聞いたことです。作品展示の時からまだお会いしたことのない「春納豆」さんが気になっていました。スクラップアートがメインにあり、お客さんも足を止めじっくり見られるなど興味をひいていました。私も作品を見て、こういう廃材がこうなるのか・・・と感心していました。発想が面白いです。今後の作品にも期待しております。スタッフの方の準備などお疲れ様でした。引き続きよろしくお願いいたします。</p>			
連携先企業名	アートNPO工房COCOPELLI（ばーど◎とやま）	担当者名	米田様

利用者からの意見・評価

<p>ワークショップに今回初めて参加しました。人と接することが苦手なので不安な気持ちはありましたが、がむしゃらに取り組んでみると「やれるぞ!」という気持ちになりました。ワークショップに参加された子供たちに手順を伝えることに最初戸惑いましたが、作品が完成したときの笑顔を見ると嬉しい気持ちになりました!次回も挑戦できたらいいなと思っています。(春納豆)</p>
